

資料館 だより

No.4
2006年
1月号

あおぞら財団附属の「西淀川地域資料室」は
大気汚染公害問題資料、西淀川地域資料な
どを所蔵しています。ぜひ、ご利用ください。
場 所:あおぞらビル5F
利用時間:毎週金曜日 10:00 - 17:00
(12:00 - 13:00は休み。祝日休み)



お知らせ 2006年3月 あおぞら財団附属「西淀川・公害と環境資料館」がオープンします。

謹賀新年



「西淀川・公害と環境資料館」
愛称募集に全国から応募がよせられる
締め切りは2月28日!

今年3月にオープンするあおぞら財団附属「西淀川・
公害と環境資料館」の愛称を募集したところ、全国か
らぞくぞくと応募がよせられています。『公募ガイド』
1月号に掲載された影響が大きいようで、毎日届くハ
ガキに目を通すのが事務局の日課になりつつあります。
締め切りは2月28日ですので、ぜひみなさんも応募し
てみてください。採用者には図書カード1万円分を用
意しています。詳しくは、あおぞら財団までお問い合
わせください。

あおぞら財団所蔵資料を活用 最近、見学や利用者増えています

あおぞら財団の資料利用者の大半は論文を抱えた学
生さんです。2005年は大学生6人、修士課程の院生3
人、博士課程の院生2人が研究のために資料閲覧され
ました。分野も経済学から公害教育、交通計画など多
彩です。4月ごろに来られる方もいますが、大部分が締
め切り迫る10~11月。あせっている学生さんたちを見
るとなんとか力になってあげたいと説明に力が入りま
す。2月、3月には論文ができあがっているでしょう。
完成が楽しみです。

西淀川の見学やあおぞら財団を訪問された方々には
閲覧室と資料の保管庫を見てもらっています。2005年
11月18日には環境省の現地視察で14名ほど受け入れ
ました。保管庫いっぱいの資料や、環境省関係の報告
書などが並んでいるのを見て、「こんな仕事もしている
のですか!」という感想が聞こえてきました。原物・
現場の持っている力に助けられているなあと日々実感
しています。

地域資料シンポ拡大研究会 資料情報のネットワーク化を提案

関西で歴史資料の保存や活用に取り組んでいる公私
の団体と歴史学会などで5団体で構成している「地域
資料シンポ実行委員会」は12月10日に拡大研究会を
開催しました。国文学研究資料館(東京)の安藤正人
氏をゲストに迎え、約40人が参加しました。安藤氏か
らは地域を構成するさまざまな団体や個人の記録遺産
である地域資料の多様な情報価値に目を広げること、
草の根文書館を基盤にした“地域アーカイブズ・ネッ
トワーク”構築などについて報告がありました。

地域資料に関する情報提供のためのネットワークを
ウェブサイトで立ち上げるという実行委員会からの提
案は今後具体化に向けて動いていきます。乞うご期待。

実行委員会構成団体:大阪歴史科学協議会、大阪歴史学会、
あおぞら財団、NPO法人西山卯三記念すまい・まちづくり文
庫、歴史資料ネットワーク

スタッフ紹介

資料整理に10月
から新しいスタッフ
が入りました。

西淀川の人で資料
整理をしてくれる人
はいないかなあ...と
探したところ、福町在
住の増田純子さんが
手伝ってくれること



左が増田さん

になりました。増田さんはプロの編集デザイナー。ア
ートからちょっと遠いところにいた財団職員の刺激と
なってます。仕事は誠実で正確。明るくて気さくな増
田さんの周りにはいつも笑顔の輪ができます。資料館
の受付に座っているので、皆さんも資料館に気軽に立
ち寄ってくださいね。

所蔵資料紹介

4 西淀川公害訴訟弁護団資料

30年前の情報源

30冊の新聞スクラップ

西淀川公害訴訟弁護団の資料の中には30冊の新聞スクラップブックがあります。昭和45(1970)年から丹念に収集された新聞の切り抜きです。西淀川公害裁判は昭和53(1978)年からなのに、誰が一体スクラップしてたの？弁護団が作ったスクラップブックではないよね？という疑問がわいてきます。この古いスクラップブックは千北病院(現：診療所)の検査技師だった田中千代恵氏が作成したものです。田中氏は西淀川公害患者と家族の会結成の中心メンバーの一人で、患者

会の理論的支柱でした。

スクラップブックからは、西淀川公害が社会問題となっていたことや、日本列島が様々な公害によって滅ぼされてしまうという危機感に包まれて



西淀川公害特別機動隊について論じた朝日新聞記事(1970/9/2)

いたのが見えてきます。今やインターネットでの情報収集が主流となっていますが、30年前はこの新聞スクラップブックが貴重な情報源だったのだと歴史の重みを感じます。(林)

やかた 館 訪問記

その4 .
リニューアルオープン
大阪人権博物館(リパティおおさか)
大阪市浪速区浪速西 3-6-36

大阪人権博物館(リパティおおさか)が12月4日、開館20周年にあわせてリニューアルオープンしました。初日に訪問すると開館時間前から長蛇の列。学芸員のみなさんの出迎えを受けて中へと入ると、真新しい展示が続きます。あたらしく常設された西淀川公害の展示コーナーには、あおぞら財団の書庫で保管していた資料の数々が明るい照明をあびて、まさに“デビュー”していました。

公害被害を人権の問題として捉える視点はこれからも大切にしていかなければなりません。
(鎗山 / 2005年12月4日訪問)

お知らせ

2006年1月27日(金) 18:30~20:30
第27回西淀川地域研究会
「学校医から見た子どものぜん息」
報告者 藤森弘氏(藤森医院 医師)
主宰: 小田康徳氏
会場: あおぞらビル3F



2006年3月18日(土) 14:00~17:00
「西淀川・公害と環境資料館」オープン記念シンポジウム
環境再生の時代に公害経験から学ぶ
~ 公害・環境問題資料の保存と活用にむけて ~
主催: あおぞら財団
共催: 日本環境会議、全国公害弁護団連絡会議、全国公害患者の会連合会
会場: エルモ西淀川(大阪市西淀川区大和田 2-5-7)
阪神西大阪線「福」駅より徒歩5分 tel.06-6471-9217
資料代: 500円

<プログラム>

あいさつ(主催者、環境省)
開催趣旨説明(芝村篤樹・桃山学院大学教授)
基調報告(日本環境会議から)
事例報告(あおぞら財団、四日市公害を記録する会、清流会館、新潟水俣病資料館、神戸深江生活史料館)
意見交換

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年はいよいよ資料館オープン之年。今は「西淀川地域資料室」の看板をかけているので、新しいのを準備しないとなあ、でも愛称が決まってからだな、なんて考えてます。

あおぞら財団の機関紙『リベラ』06年1月号では「西淀川・公害と環境資料館オープン」を特集しています。ぜひ本紙とあわせてごらんください。(ちょっと重なっている部分がありますが、ご勘弁を)

「資料館だより」No.4 2006年1月号
(隔月1日、年6回発行)

発行所 あおぞら財団 西淀川地域資料室
編集スタッフ 鎗山善理子、林美帆

連絡先 (財)公害地域再生センター(あおぞら財団)
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟 1-1-1 あおぞらビル4F
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
http://www.aozora.or.jp/shiryuu